

観光のまち 鳥羽で学ぼう! 鳥羽高校の 取り組み



県立鳥羽高校は三重県の8つの総合学科高校の中で一番新しく、また南勢地域唯一の総合学科高校で、生徒たちは自分の夢の実現に向けて学習しています。今年度は観光課などと連携し、鳥羽の観光を切り口としたフィールドワークやイベントへの参加など鳥羽高校ならではの特色ある授業を行ってきました。

そんな鳥羽高校の主な取り組みを紹介します。

観光課観光企画係 ☎ 25 1155

ナツバフェスタで おもてなし

昨年7月19日の鳥羽マルシェのプレイベント「ナツバフェスタ」では、約30人の生徒が海女着姿で、ところてんの振る舞いや風船の配布などを行いました。当日は大勢のかたにお越しいただき、鳥羽ならではのおもてなしを行いました。



海女着姿でところてんの振る舞い

観光甲子園への挑戦



答志町でのフィールドワーク

観光甲子園とは、高校生が自分たちで考えた観光プランを競う全国規模のコンテストで、書類選考を通過した上位10プランのみが本選のプレゼンテーションに進むことができます。本年度は全国の69校から131ものプランが提出されました。

鳥羽高校は、観光甲子園に昨年度から引き続き今年度も挑戦しました。教室での授業だけで

はなく、答志町や相差町など市内の各地域へ実際に足を運び、生徒自身で地域の魅力を見て感じたり、まちの人たちとの会話を通じて鳥羽の地域資源を学習し、観光プランを作成しました。

書類選考の結果、残念ながら本選に進むことはできませんでしたが、作成したプランを校内で発表し、学習の結果を共有しました。

生徒の感想の中には「フィールドワークを通じて鳥羽の魅力を知ることができた」という感想もあり、着実に生徒たちは力をつけています。



校内での発表会



鳥羽高校
安田恵理先生

1年間を振り返って

この1年間生徒と一緒に鳥羽の魅力に触れることができ、学校内だけでは学ぶことができない貴重な経験ができました。今後も地域に入って学習し、鳥羽高校としても鳥羽のPRに貢献していきたいと思えます。

鯛千匹干しでギネス世界記録挑戦への参加



昨年11月9日に答志島で開催した「鯛千匹干し」に鳥羽高校から24人が参加し、地元のかたや観光客のかたと一緒になって鯛を並べたり、干した鯛の振る舞いを手伝いました。その結果、鯛の列は129mに達し、「食用魚の最も長い列」のギネス世界記録として認定を受けました。